



(題字 小黒千足 学長)

第357号
(平成6年9月号)



▲ 第3回(平成6年度)富山地区国立学校技術職員研修実施
(平成6年9月26日(月)~28日(水)黒田講堂)

目 次

関係法令	3	◆ 中部地区学生補導厚生研究会東海・北陸 地区研修会を実施	15
学内規則	4	◆ 第3回(平成6年度)富山地区国立学校 技術職員研修会実施	16
諸会議	9	◆ 海外渡航者	18
学 事	10	◆ 外国人来諸者	20
◆ 学位取得者	10	◆ 学内レクリエーション	20
人事異動	11	職 員 消 息	20
学内諸報	12	◆ 住所変更	20
◆ 学部長等の選出	12	◆ 改 姓	20
◆ 富山大学経済学部創立70周年記念式典・ 講演会・祝賀会を挙行	13	◆ 訃 報	21
◆ 大学院教育学研究科設置記念式典・祝賀 会を挙行	14	主 要 行 事	22
◆ 附属学校園主催の附属中学校情報教育棟並びに 附属学園グラウンド完成記念祝賀会を開催	14		

関 係 法 令**(省 令)**

- 学校保健法施行規則の一部を改正する省令
(文部38) (平6. 9. 28 官報第1493号)
- 国家公務員等共済組合法施行規則の一部を改正する省令
(大蔵101) (平6. 9. 30 官報号外第189号)
- 国立学校設置法施行規則の一部を改正する省令
(文部40) (平6. 9. 30 官報第1495号)
- 国立大学の学科及び課程並びに講座及び学科目に関する省令の一部を改正する省令
(文部41) (平6. 9. 30 官報第1495号)

(規 則)

- 人事院規則9-30(特殊勤務手当)の一部を改正する人事院規則
(人事院9-30-25) (平6. 9. 2 官報第1477号)
- 人事院規則9-17(俸給の特別調整額)の一部を改正する人事院規則
(人事院9-17-49) (平6. 9. 30 官報号外第189号)
- 人事院規則16-0(職員の災害補償)の一部を改正する人事院規則
(人事院16-0-16) (平6. 9. 30 官報号外第189号)
- 人事院規則16-3(災害を受けた職員の福祉施設)の一部を改正する人事院規則
(人事院16-3-20) (平6. 9. 30 官報号外第189号)
- 人事院規則16-4(補償及び福祉施設の実施)の一部を改正する人事院規則
(人事院16-4-11) (平6. 9. 30 官報号外第189号)
- 人事院規則17-0(管理職員等の範囲)の一部を改正する人事院規則
(人事院17-0-35) (平6. 9. 30 官報号外第189号)

(告 示)

- 平成7年度科学研究費補助金の各種目の計画調書の提出期間等を定める件
(文部129) (平6. 9. 1 官報第1476号)
- 記念物を天然記念物に指定する件
(文部130) (平6. 9. 1 官報第1476号)
- 国家公務員等共済組合法施行規則第105条の2第2項第7号及び同条第3項第3号の規定に基づき大蔵大臣が定める医療に関する給付を定める件の一部を改正する件
(大蔵192) (平6. 9. 30 官報号外第189号)
- 国家公務員等共済組合法施行規則第105条の2第11項第6号の規定に基づき大蔵大臣が定める医療に関する給付が行われるべき療養を定める件の一部を改正する件
(大蔵193) (平6. 9. 30 官報号外第189号)
- 国家公務員等共済組合法施行規則第105条の4第10項第4号の規定に基づき大蔵大臣が定める医療に関する給付を定める件
(大蔵194) (平6. 9. 30 官報号外第189号)

学 内 規 則

富山大学教育学部規則の一部改正

富山大学教育学部規則の改正理由

国立大学の学科及び課程並びに講座及び学科目に関する省令の一部を改正する省令（平成6年6月24日文部省令22号）の施行に伴い、所要事項を改める。

富山大学教育学部規則の一部を改正する規則を次のとおり制定する。

平成6年9月16日

富山大学長 小 黒 千 足

富山大学教育学部規則の一部を改正する規則

富山大学教育学部規則（昭和27年4月18日制定）の一部を次のように改正する。

別表Ⅲ（ロ）専攻教科中

「	「	「	「																																																																																																																												
国語専攻	国語専攻	社会専攻	社会専攻																																																																																																																												
<table border="1"> <tr><td>学</td><td></td></tr> <tr><td>科</td><td></td></tr> <tr><td>目</td><td></td></tr> <tr><td>国</td><td></td></tr> <tr><td>語</td><td></td></tr> <tr><td>学</td><td></td></tr> <tr><td>国</td><td></td></tr> <tr><td>文</td><td></td></tr> <tr><td>学</td><td></td></tr> <tr><td>書</td><td></td></tr> <tr><td>道</td><td></td></tr> <tr><td>国</td><td></td></tr> <tr><td>語</td><td></td></tr> <tr><td>科</td><td></td></tr> <tr><td>教</td><td></td></tr> <tr><td>育</td><td></td></tr> <tr><td>日</td><td></td></tr> <tr><td>本</td><td></td></tr> <tr><td>語</td><td></td></tr> <tr><td>・</td><td></td></tr> <tr><td>日</td><td></td></tr> <tr><td>本</td><td></td></tr> <tr><td>事</td><td></td></tr> <tr><td>情</td><td></td></tr> </table>	学		科		目		国		語		学		国		文		学		書		道		国		語		科		教		育		日		本		語		・		日		本		事		情		<table border="1"> <tr><td>学</td><td></td></tr> <tr><td>科</td><td></td></tr> <tr><td>目</td><td></td></tr> <tr><td>国</td><td></td></tr> <tr><td>語</td><td></td></tr> <tr><td>教</td><td></td></tr> <tr><td>育</td><td></td></tr> </table>	学		科		目		国		語		教		育		<table border="1"> <tr><td>学</td><td></td></tr> <tr><td>科</td><td></td></tr> <tr><td>目</td><td></td></tr> <tr><td>歴</td><td></td></tr> <tr><td>史</td><td></td></tr> <tr><td>学</td><td></td></tr> <tr><td>地</td><td></td></tr> <tr><td>理</td><td></td></tr> <tr><td>学</td><td></td></tr> <tr><td>法</td><td></td></tr> <tr><td>律</td><td></td></tr> <tr><td>学</td><td></td></tr> <tr><td>社</td><td></td></tr> <tr><td>会</td><td></td></tr> <tr><td>学</td><td></td></tr> <tr><td>経</td><td></td></tr> <tr><td>済</td><td></td></tr> <tr><td>学</td><td></td></tr> <tr><td>社</td><td></td></tr> <tr><td>会</td><td></td></tr> <tr><td>科</td><td></td></tr> <tr><td>教</td><td></td></tr> <tr><td>育</td><td></td></tr> </table>	学		科		目		歴		史		学		地		理		学		法		律		学		社		会		学		経		済		学		社		会		科		教		育		<table border="1"> <tr><td>学</td><td></td></tr> <tr><td>科</td><td></td></tr> <tr><td>目</td><td></td></tr> <tr><td>社</td><td></td></tr> <tr><td>会</td><td></td></tr> <tr><td>科</td><td></td></tr> <tr><td>教</td><td></td></tr> <tr><td>育</td><td></td></tr> </table>	学		科		目		社		会		科		教		育	
学																																																																																																																															
科																																																																																																																															
目																																																																																																																															
国																																																																																																																															
語																																																																																																																															
学																																																																																																																															
国																																																																																																																															
文																																																																																																																															
学																																																																																																																															
書																																																																																																																															
道																																																																																																																															
国																																																																																																																															
語																																																																																																																															
科																																																																																																																															
教																																																																																																																															
育																																																																																																																															
日																																																																																																																															
本																																																																																																																															
語																																																																																																																															
・																																																																																																																															
日																																																																																																																															
本																																																																																																																															
事																																																																																																																															
情																																																																																																																															
学																																																																																																																															
科																																																																																																																															
目																																																																																																																															
国																																																																																																																															
語																																																																																																																															
教																																																																																																																															
育																																																																																																																															
学																																																																																																																															
科																																																																																																																															
目																																																																																																																															
歴																																																																																																																															
史																																																																																																																															
学																																																																																																																															
地																																																																																																																															
理																																																																																																																															
学																																																																																																																															
法																																																																																																																															
律																																																																																																																															
学																																																																																																																															
社																																																																																																																															
会																																																																																																																															
学																																																																																																																															
経																																																																																																																															
済																																																																																																																															
学																																																																																																																															
社																																																																																																																															
会																																																																																																																															
科																																																																																																																															
教																																																																																																																															
育																																																																																																																															
学																																																																																																																															
科																																																																																																																															
目																																																																																																																															
社																																																																																																																															
会																																																																																																																															
科																																																																																																																															
教																																																																																																																															
育																																																																																																																															
」を	」に、	」を	」に、																																																																																																																												

数学専攻	
学科目	
代数学及び幾何学	
解析学及び応用数学	
数学科教育	

数学専攻	
講座	
数学教育	

」を

」に、

音楽専攻	
学科目	
声乐	
器楽	
作曲	
音楽科教育	

」を

」に、

図画工作・美術専攻	
学科目	
絵画	
彫塑	
構成	
美術理論・美術史	
美術科教育	

」を

」に、

理科専攻	
学科目	
物理学	
化学	
生物学	
地学	
理科教育	

」を

」に、

理科専攻	
講座	
理科教育	

図画工作・美術専攻	
学科目	
美術教育	

体育・保健体育専攻	
学 科 目	
体 育 実 技	
生 理 学 及 び 衛 生 学	
学 校 保 健	
体 育 理 論 ・ 体 育 史	
保 健 体 育 科 教 育	

」を

体育・保健体育専攻	
講 座	
保 健 体 育	

」に、

家庭専攻	
学 科 目	
食 物 学	
被 服 学	
家 庭 管 理	
家 庭 科 教 育	

」を

家庭専攻	
講 座	
家 政 教 育	

」に、

技術専攻	
学 科 目	
木 材 加 工	
電 気	
機 械	
農 業	
技 術 科 教 育	

」を

技術専攻	
講 座	
技 術 教 育	

」に、

<p>英語専攻</p> <p>学 科 目</p> <p>英語学</p> <p>英米文学</p> <p>英語科教育</p> <p>ドイツ語</p>	<p>英語専攻</p> <p>学 科 目</p> <p>英 語 教 育</p>	<p>教育心理学専攻</p> <p>学 科 目</p> <p>教育心理学</p> <p>発達心理学</p>	<p>教育心理学専攻</p> <p>講 座</p> <p>学 校 教 育</p>
	」を		」を
		」に,	」に改める。
		別表IV特殊教育専攻中	
<p>教育学専攻</p> <p>学 科 目</p> <p>教育学</p> <p>教育史</p> <p>教育制度</p> <p>教育社会学</p>	<p>教育学専攻</p> <p>講 座</p> <p>学 校 教 育</p>	<p>学 科 目</p> <p>障害児教育</p> <p>障害児心理</p> <p>障害児病理</p>	<p>講 座</p> <p>障 害 児 教 育</p>
	」を		」を
		」に,	」に改める。

別表V幼稚園教育専攻中

学 科 目	講 座
幼 児 教 育	幼 児 教 育
幼 児 心 理	
保 育 内 容 の 研 究	

」を ）」に改める。

別表VI情報教育課程中

学 科 目	講 座
-------------	--------

」を ）」に改める。

附 則

この規則は、平成6年9月16日から施行し、平成6年6月24日から適用する。

富山大学附属図書館利用規則の一部改正

富山大学附属図書館利用規則の改正理由

- 1 開館時間を延長し附属図書館の利用サービスの向上を図ることに伴い、所要事項を改める。
- 2 専攻科が廃止されたことに伴い、所要事項を改める。

富山大学附属図書館利用規則の一部を改正する規則を次のとおり制定する。

平成6年9月16日

富山大学長 小 黒 千 足

富山大学附属図書館利用規則の一部を改正する規則

富山大学附属図書館利用規則（昭和63年2月19日制定）の一部を次のように改正する。

第3条第1項第1号中「午後7時」を「午後8時」に改め、同項第2号中「午後4時15分」を「午後4時30分」に改める。

第9条第1項第2号及び第16条第2号中「大学院学生及び専攻科学生」を「大学院学生」に改める。

附 則

この規則は、平成6年10月1日から施行する。ただし、第9条及び第16条の改正については、平成6年4月1日から適用する。

諸 会 議

第5回生涯学習教育研究センター準備委員会専門委員会 (9月5日)

(議 題)

- (1) アンケートについて
- (2) センターの業務内容について
- (3) その他

第4回附属図書館商議会(9月6日)

(審議事項)

- (1) 工学専門図書室の時間外開館の延長について
- (2) 平成6年度図書購入費の選定枠について
- (3) 平成7年度以降の学生用図書の選定の在り方について
- (4) その他

第2回入学者選抜実施教科・科目等検討会(9月9日)

(協議事項)

- (1) 新旧教育内容の比較・検討結果について
- (2) その他

第3回教養教育委員会実施専門委員会(9月9日)

(審議事項)

- (1) 委員の交替について
- (2) 平成6年度非常勤講師任用計画の一部変更について
- (3) 平成6年度前学期期末試験に係る追試験について
- (4) 英文の授業科目名等の標記について
- (5) 教科部所属について
- (6) その他

第4回非常勤講師任用についての調整方法検討会

(9月13日)

(議 題)

- (1) 非常勤講師任用の調整方法について

富山県留学生等交流推進会議運営委員会(9月13日)

(協 議)

- (1) 私費外国人留学生等に対する支援方策について
 - ① 奨学制度の拡充について
 - ② 良質・低廉な留学生宿舍の確保について
 - ③ 地域住民との交流について
- (2) 推進会議の活性化等について

(3) その他

入学試験実施委員会健康診断専門委員会(9月14日)

(議 題)

- (1) 委員長の選出について
- (2) 平成7年度富山大学入学者選抜健康診断実施要項(案)について
- (3) その他

第5回部局長懇談会(9月16日)

(議 題)

- (1) 当面の諸問題について
- (2) その他

第5回評議会(9月16日)

(審議事項)

- (1) 平成6年9月卒業生の認定について
- (2) 学部学生の卒業認定の取扱いについて
- (3) 富山大学教育学部規則の一部改正について
- (4) 富山大学附属図書館利用規則の一部改正について
- (5) 教官の休職について
- (6) その他

自己点検評価委員会3専門委員会主査・副主査の打合せ会

(9月16日)

(議 題)

平成5年度報告書について

第3回教養教育委員会(9月19日)

(審議事項)

- (1) 平成7年度以降の教養教育経費の部局負担について
- (2) 「教養教育における教官負担のルール化」について
(継続)
- (3) 既修得単位の認定の検討について
- (4) その他

第4回学生生活協議会(9月19日)

(審議事項)

- (1) 平成6年度体育系サークルリーダー研修会について
- (2) 平成6年度厚生補導研究会について

(3) その他

第1回体育部会（9月19日）

（議 題）

- (1) 平成6年度体育系サークルリーダー研修会について
- (2) 平成6年度在来生合宿研修について
- (3) その他

第6回生涯学習教育研究センター準備委員会専門委員会

（9月19日）

（議 題）

- (1) センターの事業内容について
- (2) その他

第4回留学生指導相談室運営委員会（9月20日）

（議 事）

- (1) 平成7年度留学生指導相談室運営経費の負担方法について
- (2) その他

第4回国際交流委員会留学生部会（9月20日）

（議 事）

- (1) 平成6年度国費外国人留学生（研究留学生）の大学推薦について
- (2) 大学紹介英文概要の作成について
- (3) その他

第3回入学者選抜実施教科・科目等検討会（9月22日）
（協議事項）

- (1) 国語，社会，理科にかかる答申（案）の検討について
- (2) その他

第4回入学試験委員会（9月27日）

（審議事項）

- (1) 平成8年度における入学者選抜第2次試験の実施方式・日程等について

第3回廃液処理施設運営委員会（9月27日）

（議 題）

- (1) 平成6年度廃液処理施設運営費予算について
- (2) 分析装置の予算要求について
- (3) その他

第5回事務協議会（9月29日）

（議 題）

当面の諸課題について

第5回教養教育委員会企画専門委員会（9月29日）

（審議事項）

- (1) 教官アンケートの最終報告について
- (2) その他

第2回入学試験実施委員会（9月30日）

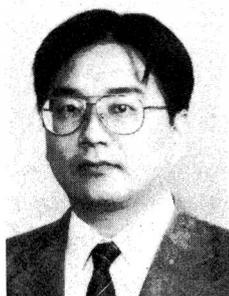
（審議事項）

- (1) 専門委員会委員について
- (2) 大学合格者名簿を新聞等に公表しないことについて

学

事

| 学 | 位 | 取 | 得 | 者 |



学位取得者
学位の種類
取得年月日
学位論文名
論文の要旨

工学部 助手 米山 嘉治
工学博士（大阪大学）
平成6年8月3日

亜鉛とハロゲン化アルキルを用いるアルキル化による石炭可溶化の研究
本論文は、亜鉛とヨウ化ブチルを用いた温和な条件下でのアルキル化による石炭の可溶化法の開発に関する研究結果をまとめたものであり、この可溶化法は石炭の構造を解析するのに適していることを明らかにした。

人 事 異 動

異動区分	発令年月日	氏 名	異 動 前 の 所 属 官 職	異 動 内 容
採 用	6.10.1	醍 醐 元 正		助教授（経済学部）
	〃	大 坂 洋		助 手（ 〃 ）
昇 任	6.10.1	加 藤 扶久美	講 師（愛媛大学教養部）	助教授（教育学部）
	〃	小 松 美英子	助教授（理学部）	教 授（理学部）
	〃	佐 治 重 興	〃（大阪大学工学部）	〃（工学部）
〃	〃	平 澤 良 男	講 師（工学部）	助教授（ 〃 ）
	6.10.1	中 村 博 之	助教授（経済学部）	助教授（横浜国立大学経営学部）
	6.9.30	澤 野 雅 彦	助教授（経済学部）	辞職を承認する
併 任	6.9.30	増 田 信 彦	教 授（経済学部）	経済学部長・評議員（～8.9.29）
採 用	6.9.5	林 敏 和		事務補佐員（附属図書館）
	〃	青 山 拓 也		〃（ 〃 ）
	〃	松 田 充 子		〃（ 〃 ）
	〃	大久保 英		〃（ 〃 ）
	〃	松 岡 弘 二		〃（ 〃 ）
	〃	大 岩 満美子		〃（ 〃 ）
	6.10.1	柴 田 元 衛		技術補佐員（経理部主計課）
〃	山 口 一 美		事務補佐員（地域共同研究センター）	
転 任	6.10.1	田 端 尚 史	文部事務官（庶務部庶務課）	文部事務官（教育助成局海外子女教育課）
	〃	井 澤 真由美	文部技官（富山工業高等専門学校学生課技術教育係第二班）	文部技官（工学部）
退 職	6.9.18	松 岡 弘 二	事務補佐員（附属図書館）	平成6年9月17日限り退職した
	〃	大 岩 満美子	〃（ 〃 ）	〃
	6.9.30	山 口 一 美	〃（地域共同研究センター）	平成6年9月29日限り退職した
	6.10.1	西 出 稚 鹿	教務補佐員（庶務部企画室）	平成6年9月30日限り退職した
	〃	吉 田 健 司	〃（ 〃 ）	〃
	〃	福 山 祥 光	〃（ 〃 ）	〃
	〃	早 川 潤	〃（ 〃 ）	〃
	〃	木 下 直	〃（ 〃 ）	〃
	〃	チャビヨノ ウィボウオ	〃（ 〃 ）	〃
	〃	渡 邊 真 弘	〃（ 〃 ）	〃
〃	柴 田 元 衛	〃（ 〃 ）	〃	
併 任	6.10.1	田 端 尚 史	文部事務官（庶務部庶務課）	教育助成局海外子女教育課の併任を解除する
育児休業	6.10.1	櫻 井 幸 子	文部技官（施設課）	職務に復帰した
職務命令	6.10.1	井 澤 真由美	文部技官（工学部）	富山大学技術官とする、富山大学技術部第二技術班員を命ずる
	以下余白			

学 内 諸 報

経済学部長に増田教授を選出



吉原節夫経済学部長の任期が、平成6年9月29日に満了することに伴い、経済学部教授会は、7月21日（木）に次期学部長候補者の選挙を行い、増田信彦教授を選出し、9月30日就任（任期平成8年9月29日までの2年間）されました。

増田教授は広島県出身で昭和39年3月大阪大学経済学部を卒業、同41年3月大阪大学大学院経済学研究科修士課程を修了、同49年5月大阪大学大学院経済学研究科博士課程を退学後、富山大学経済学部講師に採用となり、同51年4月同助教授、同60年9月同教授となり、現在に至っています。

なお、この間、昭和63年3月から平成5年5月まで評議員、平成3年5月から平成5年5月まで学生部長を併任されました。

専門は資源経済学。経済学博士（ケイス・ウェスタン・リザーヴ大学）。

（就任の抱負）

18歳人口が激減する困難な時代を迎え、それに対応するために、地域や国際社会に開かれた教育・研究、教育・研究の質の向上、そのための教育・研究環境の整備などが考えられます。

当面の課題としては、吉原前学部長と関係者のご努力により進行中の経済学部校舎新営工事について、第Ⅱ期分を無事完成させることがあげられます。

長期的には、人文学部との協力のもとに、社会人や留学生の教育を視野に入れた大学院博士課程の設置に向けて努力したいと考えております。また、地域における研究と情報の基地として、日本海経済研究所の拡充が懸案事項となっております。

関係各位の御理解と御協力をお願い致します。

教育学部附属教育実践研究指導センター長に山極教授を選出



長井真隆教育学部附属教育実践研究指導センター長の辞任に伴い、去る8月10日（水）開催の教育学部教授会において、同センター長の選考が行われ、その結果、山極隆教授が選出され、9月1日就任（任期平成8年8月31日までの2年間）されました。

山極教授は、東京都出身で昭和34年3月東京教育大学理学部を卒業後、公立学校教員、都立教育研究所科学研究部生物研究室指導主事、文部省初等中等教育局教科調査官、主任視学官等を経て、平成6年4月同センターの教授となり、現在に至っています。

専門は教育方法学。

（就任の抱負）

今回、図らずも、教育学部附属教育実践研究指導センターのセンター長に就任することになりました。前任の長井先生同様、よろしくお願い申し上げます。

恥ずかしながら、教育実践研究指導センターと言う長たらしい名称を覚えきれない有様ですので、特に抱負とかいったものは未だ持ち合わせていません。皆様方からのご指導を頂いたり、センター協議会の出席を通して、少しずつ固めていきたいと願っております。また、教育委員会や学校との連携を一層大事にしたいと思っております。

富山大学経済学部創立70周年記念 式典・講演会・祝賀会を挙行

富山大学経済学部は、今年で創立70周年を迎え、9月17日（土）に黒田講堂において記念式典及び記念講演会を開催し、引き続き、富山観光ホテルを会場に祝賀会が行われました。

経済学部は、大正13年9月25日の官制により第13官立高商として設立された「高岡高等商業学校」に始まり、昭和24年富山大学文理学部経済学科を経て昭和28年国立大学設置法の改正により、同年8月1日経済学部が発足し、これまでに1万1千人を超える卒業生を送り出しています。

記念式典では、来賓、同窓生、教職員など約500人が出席し、吉原経済学部長が「4年一貫教育の全学新体制のも

と、21世紀の日本を担う人材育成に努めていきたい。」と式辞を述べ、小黒学長及び越嶺会（経済学部同窓会）会長の挨拶の後、与謝野文部大臣（近藤文部省高等教育局大学課長代読）、中沖富山県知事（横沢富山県出納長代読）及び綿貫衆議院議員が祝辞を述べられました。

式典に引き続いて、同学部1回卒業生で日本国際問題研究所の堀靖夫専務理事（前フィジー大使）を講師に「国際社会における日本の座標」と題して記念講演が行われました。

その後、祝賀会が開かれ、和やかな雰囲気の中“70周年”を盛大に祝い、今後一層の発展を誓い合われました。



▲ 経済学部70周年記念式典で式辞を述べる吉原学部長（黒田講堂）



▲ 「国際社会における日本の座標」と題して記念講演される日本国際問題研究所 堀 靖夫専務理事

大学院教育学研究科設置記念式典・祝賀会を挙行

平成6年4月1日をもって念願の大学院教育学研究科修士課程が設置されたことを記念して、9月14日（水）富山第一ホテルで記念式典及び祝賀会が開催され、文部省高等教育局大学課小山五朗課長補佐をはじめ、学内外関係者約200名が出席しました。

記念式典では、小黒学長の式辞に続いて、文部省高等教育局長（文部省高等教育局大学課小山五朗課長補佐代読）、広野允士衆議院議員、中沖豊富山県知事（福沢富山県出納長代読）の祝辞が述べられ、加瀬正二郎教育学研究科長の挨拶があり、「教育界で指導的役割を担う人材を育成し、

今後も地元富山県を中心とする地域社会の文化の向上、発展に貢献していきたい」との決意を述べられました。

記念式典の後、祝賀会に移り、屋敷平州富山県教育委員会委員長、正橋正一富山市長（雲井富山市教育長代読）の祝辞が述べられ、日本教育大学協会北陸地区会千葉堯会長（福井大学教育学部長）の発声で乾杯し、設置までの経緯を振り返りながら和やかに懇談が行われました。

最後に、同研究科の益々の発展を祈念して、清水美晴富山教育学窓会会長の万歳三唱で締め、盛会裏に終了しました。



▲ 大学院教育学研究科設置記念式典で挨拶を述べる
加瀬教育学研究科長



▲ 千葉日本教育大学協会北陸地区会会長の発声で乾杯

附属学校園主催の附属中学校情報教育棟並びに 附属学校園グランド完成記念祝賀会を開催

平成6年9月9日（金）午後6時から富山電気ビルレストランにおいて、小黒学長をはじめ来賓、PTA関係者及び本学関係者等約90名が参加し、附属中学校情報教育棟並びに附属学校園グランド完成記念祝賀会が盛大に行われました。

まず長井附属中学校長が開会の挨拶があり、完成の報告と施設の概要、児童生徒が活用している様子などについて紹介されました。続いて、尾島附属中学校副校長から事業の経過報告が行われ、小黒学長、加瀬教育学部長から祝辞がありました。中山附属中学校初代副校長による祝杯の発声後、完成記念祝宴がもたれました。終わりに松井附属小学校長が深謝の意を表して万歳を三唱し、閉会になりました。



▲ 中山附属中学校初代副校長による祝杯

平成 6 年度 (第 38 回)

中部地区学生補導厚生研究会東海・北陸地区研修会を開催

平成 6 年度 (第 38 回) 中部地区学生補導厚生研究会東海・北陸地区研修会が、富山大学の当番で 9 月 6 日から 9 日までの 4 日間、富山厚生年金休暇センターで開催されました。

研修会には、東海・北陸地区の国公立大学・短大・高専等において日頃厚生補導関係業務を担当している職員 83 名 (49 機関) が参加しました。

文部省高等教育局学生課 佃 雅之調査係長が「厚生補導の諸問題」、㈱インテック社長 中尾哲雄氏が「高度情報社会を生きるために」、富山大学経済学部 駒城鎮一

教授が「学生対応と法律問題」と題して興味ある講演を行いました。

また、分科会ではテーマ別分科会として教務関係、課外活動、福利厚生及び学生部 (教務部) の各諸問題の計 4 分科会を、設置者別分科会として国公立大学 2 分科会、私立大学、公私立短期大学及び高等専門学校各 1 分科会の計 5 分科会を設定し、大学改革に伴う厚生補導の諸問題等を中心に活発な討議が行われました。

日 程 表

時間	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00
期日					30		10		40				
9月6日(火)					受 付	記 念 撮 影	講 演 「厚生補導の諸問題」 文部省 高等教育局 学生課 調査係長 佃 雅之	休 憩	講 演 「高度情報社会を生きるために」 ㈱インテック 代表取締役社長 中尾 哲雄	開 閉 式 講 演 式	助 言 者 司 会 者 記 録 者 打 合 せ	懇 親 会	
9月7日(水)		講 演 「学生対応と法律問題」 富山大学 経済学部教授 駒城 鎮一	移 動 ・ 休 憩	テ マ 別 分 科 会	昼 食	テ マ 別 分 科 会				入 浴 夕 食	自 由 討 議		
9月8日(木)		テ マ 別 分 科 会 ま と め	設 置 者 別 分 科 会		昼 食	設 置 者 別 分 科 会			設 置 者 別 分 科 会 ま と め	入 浴 夕 食	自 由 討 議		
9月9日(金)		全 体 会 議		閉 講 式									

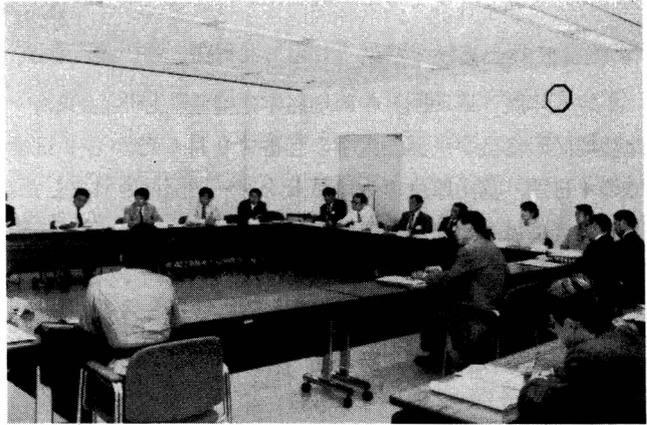
第3回（平成6年度）富山地区国立学校技術職員研修を実施

第3回（平成6年度）富山地区国立学校技術職員研修が去る9月26日（月）から28日（水）までの3日間、本学黒田講堂会議室において実施されました。

この研修は、富山県内の国立学校に勤務する教室系技術職員に対して、その職務に必要な知識、技術を修得させるとともに、相互啓発の機会を与えることにより、職務遂行に必要な能力、資質等の向上を図ることを目的としたもので、富山地区国立学校4機関から22名の技術職員が受講しました。

参加者は、学内外の講師による講義ではメモを取りながら熱心に受講し、技術職員相互の技術発表や庶務部長、人事課長を交えての「ディスカッション」では、それぞれ活発な質疑応答や意見交換を行いました。

なお、研修日程及び受講者は次のとおりです。



▲ 庶務部長及び人事課長を交えて熱心にディスカッションを行う研修者

第3回（平成6年度）富山地区国立学校技術職員研修日程表

		9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00
		30	30 40		10	10				
9月26日 (月)	開講式・庶務部長	オリエンテーション	大学の現状と課題について 富山大学庶務部 庶務課長 磯田 義賢	休 憩	講 義 「機械の安全性」 富山大学工学部教授 塩澤 和章	昼 食	No.1 30分 休 憩 No.2 30分 休 憩 No.3 30分 休 憩 No.4 30分 休 憩 No.5 30分 休 憩 No.6 30分	技 術 発 表 富山大学（3名） 富山医科薬科大学（2名） 富山商船高等専門学校（1名）		
	9月27日 (火)	講 義 「電気工学における情報処理」 富山大学工学部教授 山淵 龍夫	休 憩	講 義 「放射線の基礎」 富山医科薬科大学 教授 本田 昂	昼 食	移 動	企 業 見 学 「国際電気株式会社」 婦負部八尾町保内			移 動
9月28日 (水)	講 義 「健康管理」 富山医科薬科大学 保健管理センター講師 山下 直宏	休 憩	講 義 「安全管理」 富山市消防本部 予防課長 高木 慶蔵	昼 食	講 義 「バイオテクノロジーの基礎と応用」 富山大学工学部 教授 島崎 長一郎	休 憩	講 義 「服務規律」 富山大学庶務部 人事課長 園利 男	ディスカッション 「技術職員の在り方等について」	閉講式・庶務部長	

受 講 者 名 簿

No.	機 関 名	所 属	氏 名	性別	備 考
1	富 山 大 学	工学部電子情報工学科	高 安 勇 吉	男	
2	”	”	北 村 岩 雄	”	
3	”	”	柴 田 幹	”	
4	”	工学部機械システム工学科	友 坂 敏 信	”	
5	”	”	渡 辺 秀 一	”	
6	”	”	西 村 昭 治	”	
7	”	”	高 瀬 博 文	”	
8	”	工 学 部 工 場 係	藤 岡 和 典	”	発表者(2)
9	”	”	中 尾 良 行	”	発表者(4)
10	”	”	高 村 浩 之	”	
11	”	庶務課学事調査係	高 塚 清 文	”	
12	富山医科薬科大学	研究協力課総務係	高 田 義 美	女	発表者(5)
13	”	”	野 手 姫代美	”	
14	”	”	松 永 憲 治	男	
15	”	”	武 田 精 一	”	
16	”	”	山 本 昌 子	女	
17	”	”	森 腰 正 弘	男	発表者(3)
18	”	”	川 原 昌 彦	”	
19	”	”	吉 井 亮 一	”	
20	高岡短期大学	学 生 課 実 習 係	畑 篤	”	
21	富山商船高等専門学校	庶務課実験実習第一係	舘 清 志	”	発表者(1)
22	”	庶務課実験実習第二係	空 浩	”	

(注)備考欄の()内は発表順を示す。

海外渡航者

渡航の種類	所属	職	氏名	渡航先国	目的	期間
外国出張	理学部	教授	松浦郁也	ベルギー王国 連合	触媒調整国際会議出席, 他	6. 9. 4) 6. 10. 14
	地域共同 研究 センター	助教授	池野進	アメリカ合衆国	第4回アルミニウム合金国際会議 に出席, 研究発表	6. 9. 10) 6. 9. 18
	工学部	〃	松木賢司	〃	〃	〃
	〃	文部官 技	松田健二	〃	〃	〃
	教育学部	教授	塚野州一	ベルギー	「児童・青年期における自己意識 の発達」の調査研究(在外研究員)	6. 9. 13) 6. 11. 13
	工学部	〃	能登谷久公	中 国	ICPCG-94国際会議に出席及び 研究発表, 他	6. 9. 24) 6. 9. 30
	〃	助教授	山田茂	〃	〃	6. 9. 24) 6. 10. 7
	理学部	教授	高木光司郎	カナダ アメリカ合衆国	分光学の将来に関する国際学会に 出席, 他	6. 9. 24) 6. 10. 7
	〃	助教授	酒井英男	連 合 王 国	遺跡等の浅部構造の電磁気探査法 の研究打合せ, 他	6. 9. 25) 6. 10. 6
	人文学部	〃	末原達郎	スウェーデン オランダ タンザニア	「アフリカにおける食糧生産とその 社会経済的背景に関する研究」 の資料調査, 他	6. 9. 25) 6. 11. 14
	工学部	助手	高野登	中 国	ICPCG-94国際会議に出席及び 研究発表, 他	6. 9. 26) 6. 9. 30
	〃	文部官 技	大山達雄	〃	〃	〃
理学部	教授	高安紀	ベルギー	第6回触媒失活シンポジウムに 出席, 他	6. 9. 30) 6. 10. 10	
海外研修	工学部	〃	大住剛	連 合 王 国	第21回リーズ・リョントライボロ ジシンポジウム出席, 研究発表, 他	6. 9. 3) 6. 9. 14

渡航の種類	所属	職	氏名	渡航先国	目的	期間
海外研修	経済学部	講師	秋葉悦子	スペイン	パルマ市内の病院、療養所等、施設見学	6. 9. 4 } 6. 9. 13
	教育学部	助教授	堀田朋基	フィンランド	伸張-短縮サイクル運動のメカニズムに関する実験	6. 9. 6 } 6. 10. 30
	経済学部	〃	安村勉	香港	香港刑事司法研究会に出席	6. 9. 12 } 6. 9. 17
	〃	〃	西村秀二	〃	〃	〃
	〃	〃	酒井富夫	ドイツ	ドイツ農業事情の調査、研究	6. 9. 12 } 6. 9. 23
	工学部	〃	石原外美	アメリカ合衆国	複合材料の疲労に関する研究討論	6. 9. 15 } 6. 9. 24
	経済学部	講師	伊藤司	連合王国	民法法に関する資料収集	6. 9. 18 } 6. 9. 28
	〃	〃	宇野齊	連合王国, オランダ, フランス, ドイツ	情報ネットワーキング研究に関する調査、資料収集、他	6. 9. 18 } 6. 10. 4
	工学部	〃	堀田裕弘	アメリカ合衆国	画像符号化シンポジウム1994に出席	6. 9. 20 } 6. 9. 26
	理学部	助教授	川田邦夫	インド	雪に関する国際シンポジウムに出席、他	6. 9. 21 } 6. 10. 5
	工学部	〃	伊藤研策	スウェーデン	複合液体の統計力学シミュレーションに関するEUCHEM会議に参加、研究発表	6. 9. 22 } 6. 10. 2
	理学部	教授	小林武彦	アメリカ合衆国	ハワイ諸島の火山の地質学的調査・研究	6. 9. 23 } 6. 10. 5
	〃	〃	常川省三	カナダ アメリカ合衆国	分光学会に出席、他	6. 9. 24 } 6. 10. 5
	人文学部	助教授	前川要	連合王国	イギリス中世都市遺跡の遺跡探査の研究	6. 9. 26 } 6. 10. 12
	理学部	助手	渡邊了	アメリカ合衆国	火山地形の調査	6. 9. 26 } 6. 10. 3

外国人来訪者

氏名 (国籍)	本国における 所属機関・職名	来学目的	本学受入れ先	期間
イエファーノフ・ アンドレイ (ロシア)	世界経済国際関係 研究所・研究員	「55年体制崩壊後の日本外交 政策－朝鮮半島問題」につい て研究(外国人研究者)	人文学部教授 矢澤英一	6. 7. 19 } 7. 7. 18
劉 琪 璟 (中国)	中国科学院沈陽応用 生態研究所・助教授	極東アジアにおける落陽広陽 樹林生態系の比較生態学的 研究(外国人研究者)	理学部教授 小島 覚	6. 9. 1 } 7. 8. 31

学内レクリエーション

<庭球大会>

本学レクリエーション委員会体育部会庭球班、文部省共済組合富山大学支部共催による平成6年度学内庭球大会が、去る9月10日(土)本学軟式庭球場及び硬式庭球場において実施されました。

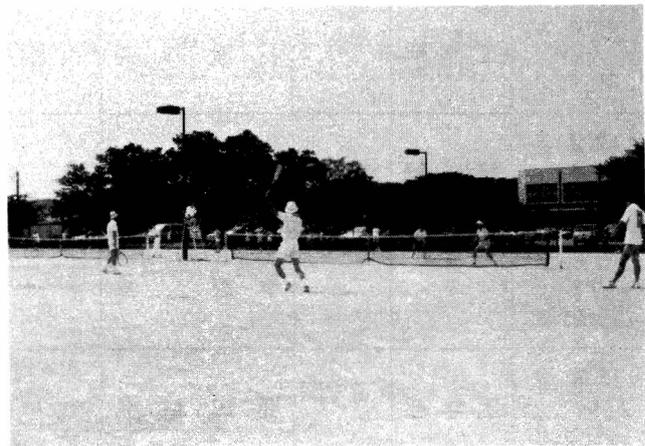
本大会は、約80名の参加者を得て、男子9チーム(部局対抗のダブルスによる団体戦)及び女子5チーム(ダブルスによる個人戦)により行われ、成績は次のとおりです。

○男子(団体戦)

優 勝 工学部Aチーム
準優勝 教育学部チーム

○女子(個人戦)

優 勝 西部(工)・湯野(人)
準優勝 上田(本)・山中(教)



職員消息

<住所変更>

部局名	官職	氏名
工学部	助教授	伊藤研策
女子部	事務補佐員	藤村正子

<改姓>

部局名	官職	氏名	旧姓
工学部	事務補佐員	藤村正子	赤塚

訃 報

富山大学名誉教授 深井三郎氏逝去



本学名誉教授深井三郎氏が平成6年9月9日に逝去されました。享年82歳。

同氏は、昭和7年3月富山師範学校本科第1部を卒業し、同年同月富山県下新川郡泊尋常高等小学校訓導に就任され、その後、同郡上野方尋常小学校訓導、同郡上野方青年師範学校助教諭、同郡泊町実業補習学校助教諭、富山県公立青年学校助教諭兼現在校助教諭、同郡五箇庄尋常高等小学校訓導等を経て、同18年4月富山師範学校教諭に就任、同24年5月同校が富山大学に包括されたことに伴い、同年6月、兼ねて富山大学講師（教育学部勤務）に補せられ、同25年4月富山大学教育学部講師に就任、富山大学富山師範学校講師を兼職され、同28年10月富山大学教育学部助教諭、同41年4月教授に昇任となり、同53年4月1日限り停年により退職されました。

同氏は、この間、永年にわたり、専門とする地学の研究分野で終始熱意と温情をもって適切な教育と指導をされ、有能な多くの人材の育成に尽力されました。

研究面においては、主として北アルプスの山頂部の地形研究に力を注がれ、そこに源を発する諸河川の段丘地形の研究、下流部の平野の研究、海岸から海底地形の研究へと進展し、更に地下水の研究と自然災害に関する著書等は多数に及んでいます。

また、日本アルプスにおける立山東斜面の圈谷地形の中に氷体が広く存在することを発見し、その雪氷学的研

究から氷河期には北アルプスに氷河が実在したことを実証され、事後のわが国の氷河地形研究の新しい発展に画期的な功績を残されました。これらの業績のなかで、立山称名滝の形成過程を解明した研究により、昭和38年3月に富山新聞社から文化賞（学術賞）を受賞され、更には富山大学学術調査団を結成し団長として、北アルプスの研究に従事し、その成果が日本学術振興会において高く評価され、昭和43年3月第4回秩父宮記念学術賞（団体賞）を受賞されています。

学会活動においても、長く富山地学会長として、また、昭和33年及び同49年の2回にわたる日本地理学会秋季大会の実行委員長、昭和52年夏の国際地質学連合の環太平洋深成作用プロジェクト（CPPP）が、わが国で最初に開かれた、富山集会の実行委員長として、学会の運営と発展に尽力されました。

加えて、社会活動においても、富山県文化財保護審議会会長、富山県自然環境保全審議会委員、富山市公害対策審議会委員等を務められ、自然保護・生活環境保全と自然保護思想の普及と啓蒙に努められました。またそのかたわら、ナチュラルリストを養成し、富山県自然保護行政の一環としてわが国初めての自然保護制度を創設され、これらの功績により、昭和56年11月富山県知事から「富山県政功労者表彰」を、同時に富山市長から「富山市特別功労賞」を受賞されました。

更に、学内にあっては、昭和44年6月から同48年3月まで富山大学評議員として、同48年3月から同50年3月まで富山大学教育学部長として、大学及び学部の充実と発展に貢献されました。

これらの功績により、昭和53年4月富山大学名誉教授の称号を授与され、また、同59年11月には勲三等旭日中綬章を授与されました。

ここに同氏の御功績を偲び顕彰するとともに、御冥福を祈り、謹んで哀悼の意を表します。

主 要 行 事

本 部

9月6～9日

平成6年度（第38回）中部地区学生補導厚生研究会東海・北陸地区研修会（富山厚生年金休暇センター）

7日 国立大学協会第1，第4常置委員会小委員会合同委員会（学士会分館）

平成6年度富山共済組合支部連絡協議会ソフトボール大会（常願寺運動公園）

9日 秋の国立学校等経理部課長会議（東京医科歯科大学）

10日 学内硬式庭球大会

12日 北陸地区三大学人事担当課長会議（金沢大学）

13日 平成6年度東海・北陸地区管理事務協議会（金沢大学）

14日 第53回東海・北陸地区国立学校等庶務部課長会議（金沢大学）
大学院教育学研究科修士課程設置記念式典（富山第一ホテル）

17日 経済学部創立70周年記念式典（黒田講堂・富山観光ホテル）

17日～10月15日

公開講座「地球・生物・物質の現代像Ⅰ」

19日～10月6日

公開講座「健康・スポーツ教室 初心者のためのバドミントン」

19日～10月7日

文部省会計事務特別研修（オリセン）

20日 第7回部課長会議

22日 勤務時間法改正説明会

23日 平成6年度文部省富山地区共同事業体育大会ビーチボール（高岡短大）

26～28日 第3回（平成6年度）富山地区国立学校技術職員研修（黒田講堂）

26～30日 東海・北陸地区会計事務職員研修（岐阜大学）

27日 夜間教育実施国立大学事務局長会議（千葉大学）

29～30日 平成6年度東海・北陸・近畿地区国立学校等広報・文書研究協議会（大阪ガーデンパレス）
全国大学保健管理研究集会（松本）

30日～10月1日

経理部レクリエーション

学生部・保健管理センターレクリエーション

人 文 学 部

9月5日 学部予算委員会

6日 平成6年度後学期授業時間割担当者会議

7日 教授会

教授会（人事）

大学院人文科学研究科委員会

14日 学部自己点検評価委員会

学部入学者選抜方法検討委員会

眞率会主催一泊レクリエーション（寺尾温泉）

19日 学部教務委員会

21日 教授会

教授会（人事）

大学院人文科学研究科委員会

28日 学部将来計画委員会

教 育 学 部

9月1日 附属養護学校及び附属幼稚園第2学期始業式

2日 教育実習運営協議会

5日 在外研究員候補者選考委員会

6日 入学者選抜方法検討委員会

7日 学部学生生活委員会

学部教務・学生生活合同委員会

学部教務委員会

人事教授会

教授会

9日 附属中学校情報教育棟並びに附属学校園グラウンド完成記念祝賀会（富山電気ビル）

14日 教育学研究科修士課程設置記念式典・祝賀会（富山第一ホテル）

20日 紀要編集委員会

21日 教育学研究科委員会小委員会

教育学研究科委員会

学部予算委員会

29～30日 平成6年度北陸地区教員養成学部事務長協議会

(金沢大学)

経済学部

9月5～8日

経済学部新校舎移転作業

6～12日 大学院経済学研究科入学願書受付

12日 学部施設整備委員会・助手室業務運営委員会合同委員会

13日 大学院経済学研究科委員会小委員会

14日 学部教務委員会
大学院経済学研究科委員会
教授会

17日 富山大学経済学部創立70周年記念大会（黒田講堂）

21日 学部教務委員会
人事教授会
教授会

28日 大学院経済学研究科入学試験

30日 経済学部・大学院経済学研究科学位授与式
各種委員選考委員会**理学部**

9月1～2日

大学院理学研究科（修士課程）
入学者選抜検査

6日 学部入試改善委員会

7日 教授会
大学院理学研究科委員会
人事教授会

8日 学部動物実験委員会（持ち回り）

14日 眞率会主催一泊レクリエーション（寺尾温泉）

17日 公開講座「地球・生物・物質の現代像Ⅰ」『身近な水の水質』

21日 学科長会議
学部施設委員会
大学院設置構想推進委員会
大学院理学研究科委員会教務検討小委員会

24日 公開講座「地球・生物・物質の現代像Ⅰ」『内部からみた地球』

工学部

9月1日 博士記念式典実行委員会

6～7日 博士前期課程入学試験

13日 構内清掃

14日 博士後期課程委員会
研究科委員会16日 博士前期課程合格発表
工学部技術職員連絡会と係長連絡会との合同会議

20日 博士後期課程主任会議

21日 学部入学試験検討委員会

26日 学部教務委員会

28日 教授会
研究科委員会
博士後期課程委員会

29～30日 第18回国立大学47工学系学部長会議（鳥取大学）

附属図書館9月6日 第1回附属図書館自己点検評価委員会
第4回商議会**水素同位体機能研究センター**9月2日 平成6年度第2回水素同位体機能研究センター
運営委員会27日 平成6年度第2回水素同位体機能研究センター
専門委員会**地域共同研究センター**

9月1～14日

先端技術研修（情報処理コース）

2日 日本芸術文化振興会関係者視察
材料部会第5回研究発表会

5～9日 先端技術研修（流体伝熱コース）

8日 第2回技術セミナー

9日 地域共同研究センター運営委員会

26日 企業見学と産学交流会（㈱日平トヤマ）
第4回大学院生教育講座

平成6年度『秋季全国火災予防運動』

平成6年11月9日（水）～11月15日（火）

この運動は、火災が発生しやすい気候となる時季を迎えるに当たり、火災予防思想の一層の普及を図り、もって火災の発生を防止し、死傷事故や財産の損失を防ぐことを目的とする。

『安心の 暮らしの中心 火の用心』

編 集 富山大学庶務部庶務課
富山市五福3190
印刷所 あけぼの企画株式会社
富山市住吉町1丁目5-18
電話(24)1755代